

南島原市ニュース

令和7年8月13日

タイトル 令和7年度 南島原市優秀工事表彰式

市では受注者の施工意欲を喚起し、工事の品質と適正な施工の確保を図るために令和6年度に完成した市発注工事を対象に先行した優秀工事について表彰します。

記

- 日 時 8月20日(水) 午前10時～11時
- 場 所 ありえコレジヨホール
- 受賞者 有限会社 重松組
株式会社 松尾組
株式会社 田浦工務店
株式会社 野田組

※工事概要については別紙参照

担当部署	総務部管財契約課	担当者	井口
直 通	0957-73-6626	E mail	kensa@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

令和7年度 南島原市優秀工事表彰

受賞工事の概要及び表彰理由

工事名称	シドウミナシマバラジテンシャドウセンセイバコウジ ミナミアリマ16コウク 市道南島原自転車道線整備工事 南有馬16工区		
施工業者名	ユウケンガイシャ シゲマツグミ 有限会社 重松組 ダイヒョウトリシマリヤク シゲマツ カスヒテ 代表取締役 重松 和秀	技術者名	主任技術者 オオタ マナブ 太田 学
工事概要	工事延長 L=388m 計画幅員 W=4.0m 法面保護工 A=460m ² 擁壁工 V=68m ³ PC橋工 N=3箇所 アスファルト舗装工 A=1510m ²		
表彰基準	施工・品質・安全衛生・施工管理等において、創意工夫に努めた工事		
表彰理由	<p>本工事は、工区内に3つの水路が横断し、作業場所が4つに分断した現場であり、施工効率や工程管理について懸念があったが、分割工区の施工順番の計画、短期材令における強度発現が大きくなる早強コンクリートへの変更による養生期間の短縮、水路の床版仮設、3Dデータ測量器の活用、週休2日の達成及び追加工事の施工にも関わらず当初の契約工期内で完成させるなど、施工の向上について非常に工夫された工事であった。</p> <p>また、橋梁に使用する鉄筋への防錆剤の塗付、舗装止め材の基礎コンクリートの設置などに取り組み、品質の高い工事でもあった。</p>		

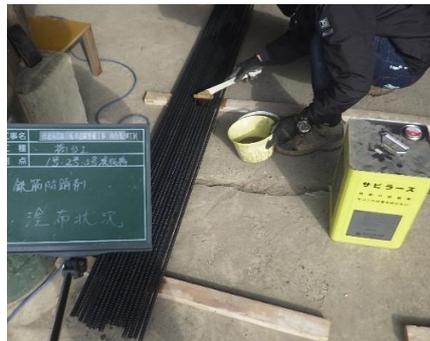
完成写真



早強コンクリート打設



水路の床版架設



鉄筋防錆剤



舗装止め材の基礎コンクリート

令和7年度 南島原市優秀工事表彰

受賞工事の概要及び表彰理由

工事名称	シドゥヤスンパタナシ1ゴウセン(ヤスンパコウク)ドウロカリョウコウジ 市道休場棚石1号線（休場工区）道路改良工事		
施工業者名	カブシキガイシャ マツオグミ 株式会社 松尾組 ダイョウトリシマリヤク マツオ ヒロミ 代表取締役 松尾 弘美	技術者名	主任技術者 イクチ タカリ 井口 貴工
工事概要	工事延長 L=100m 計画幅員 W=4.5m 盛土工 V=62m ³ 補強土壁工 A=159m ² 側溝工 L=72m 集水柵工 N=1箇所		
表彰基準	施工・品質・安全衛生・施工管理等において、創意工夫に努めた工事		
表彰理由	<p>本工事は、急峻な法面の上部に位置する市道において、幅員が約2.5m程度と狭く危険であるため、市道の拡幅を補強土壁工（パンウォール工法）により実施した工事である。今回実施したパンウォール工法は、補強材（D25）の引張力により法面を補強するもので、補強材が安定支持層まで到達しているかが重要であり、削孔作業中に出てくる泥水の色や削孔速度を確認し、設計時の調査ボーリング結果の土質と132本全て比較し、より精度の高い補強材の安定支持層到達を確認するなど品質管理が非常に優れた工事であった。</p> <p>また、3Dデータの活用による測量やコンクリートの再振動、迂回路の定期的な清掃などに取り組み、高い品質管理及び地域社会への貢献が図られた工事でもあった。</p>		



完成写真



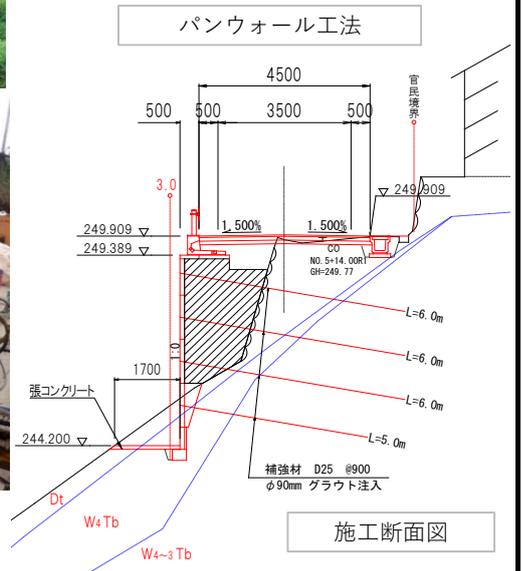
完成



泥水確認



削孔深度確認



施工断面図

令和7年度 南島原市優秀工事表彰

受賞工事の概要及び表彰理由

工事名称	ウワタニチクノドウセイセハコウジ 上谷地区農道整備工事		
施工業者名	カブシキガイシャ タウラクコムテン 株式会社 田浦工務店 ダイヒョウトリシマリヤク タウラ シンスケ 代表取締役 田浦 伸介	技術者名	主任技術者 タツキ ヨンサダ 達木 義貞
工事概要	工事延長 L=231m 計画幅員 W=5.0m 練ブロック積 A=213m ² 水路工 L=213m 橋梁工 N=1式 護床工 L=14m		
表彰基準	施工・品質・安全衛生・施工管理等において、創意工夫に努めた工事		
表彰理由	<p>本工事は、農村集落の谷間にある農道の拡幅、及び既設橋梁の拡幅を伴う工事である。</p> <p>ブロック積擁壁や重要構造物である橋梁下部工の構築においては、地層構成等が軟弱地盤の場合は沈下が生じる恐れがあるため、施工前に簡易動的コーン貫入試験、及び床掘後のポータブルコーン貫入試験を実施し、基礎地盤支持力の数値化による確認を行い、基礎砕石の増厚や木杭基礎の提案施工をされ、構造物の安定性の確保が行われた施工管理が非常に高い工事であった。</p> <p>また、試験盛土施工を実施し、適正な締固め回数の把握による高品質な締固め密度の品質管理、及び構造物の取壊しにおけるブレーカーの先端に簡易的な飛散防止器具の設置を行うなどの安全対策にも工夫された工事であった。</p>		

完成写真



簡易動的コーン試験



ポータブルコーン貫入試験



木杭基礎



試験盛土（現場密度試験）



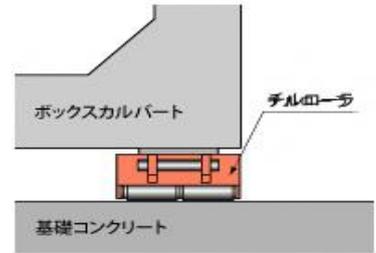
飛散防止器具

令和7年度 南島原市優秀工事表彰

受賞工事の概要及び表彰理由

工事名称	シドウムカゴヤセン、カネンテセン、ヨシカワシタガタセンドウロカイヨウコウジ 市道向小屋線、曲ノ手線、吉川下瀉線道路改良工事		
施工業者名	カブシキガイシャ ノダグミ 株式会社 野田組 ダイエウトリシマリヤク ノダ セイコ 代表取締役 野田 聖子	技術者名	主任技術者 ノダ ナオヤ 野田 直也
工事概要	工事延長 L=93m 計画幅員 W=4.5~5.0m 掘削工 V=70m ³ 盛土工 V=50m ³ 地盤改良工 A=299m ² 擁壁工 V=39m ³ カルバート工 N=1式 側溝工 L=63m		
表彰基準	施工・品質・安全衛生・施工管理等において、創意工夫に努めた工事		
表彰理由	<p>本工事は、3路線が橋梁を中心として不規則に交差している路線で、道路幅員も狭いうえに民家も隣接する交差点部の改良工事である。橋梁架け替えにおけるプレキャストカルバート工では、設置箇所上空にクレーンでの施工が困難となる架空線に関する制約があったが、重量物を簡易的に移動据付ができるチルローラー工法を採用し、非常に高い安全施工が図られた工事であった。</p> <p>また、場所打擁壁においては、夏季の散水養生や冬季の練炭による給熱養生を行い、生コン打設に工夫され打設面の仕上がりの良い、品質の高い工事でもあった。</p>		

完成写真



チルローラー工法



夏季：散水養生



冬季：給熱養生

